

春のながぐつの土ようび 4月12日(土) 2008

参加者 65名:一般参加者 42名、ボランティアスタッフ 23名

時折、雨が降ったり、寒い日でしたが春を探しに、元気な子どもたちが集まりました。エゾアカガエルやエゾサンショウウオのたまごなどを観察、ミズバショウ、ザゼンソウ、エゾリュウキンカが咲き始め、一足先に平岡公園の春を楽しみました。トマツの倒木にはシデムシや小さな虫たちがたくさん住んでいました。だれが放したのか?カメ!を捕獲。トノサマガエルなど平岡公園でも外来生物の問題が心配されます。外来生物に詳しい酪農大学の先生、学生さんと一緒に、自然のルールやマナーを学びます。また今年も、人工湿地で繁殖している「トノサマガエル」の拡散を防ぐために、生息調査を実施します。

